



Hamamatsu municipal nursing college
浜松市立看護専門学校



あなたの
やさしさをかたちに
相手と真に向き合い、
自己成長できる
看護師を目指します。



教育理念

本校は、ケアリングを基盤とした創造性豊かな看護実践力と自己成長し続ける力を持ち、多様な場で主体的に活躍できる人材の育成を目指します。

教育目的

豊かな感性と高い倫理観、科学的知識、確かな技術を統合し、創造的な看護実践力をもって、地域社会の人々の暮らしを支えるために、自ら行動できる看護師を育成します。

ディプロマポリシー：称号授与の方針(DP)／到達目標

I. 思いやる力

1. 自己の感情に目を向け、心と体を大切にすることができる。
2. 自己の経験や感性を使って相手の状況や感情に気づくことができる。
3. 相手のありのままを受け止め、わかろうとすることができる。
4. 相手と向き合い、成長し合う関係を築くことができる。

II. 実践する力

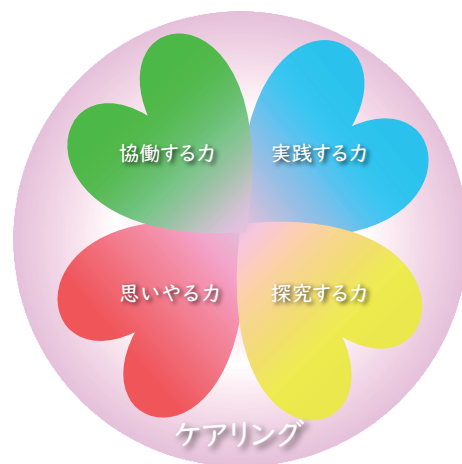
1. 直観的・批判的思考を用い、対象の望みを踏まえながら、課題解決に向かうことができる。
2. 科学的根拠に基づいた看護実践ができる。
3. 対象の健康的な生活に向けて看護を創造し、実践することができる。

III. 探求する力

1. 専門職としての責任を持ち、自己研鑽し続けることができる。
2. 成長し続けるために、自己を振り返る力を身につけることができる。
3. 新たな課題を見出し、主体的に学修に取り組むことができる。

IV. 協働する力

1. 変化する保健医療福祉システムと看護師の役割を理解することができる。
2. 地域社会の人々の健康的な生活に向けて、多職種との連携・協働に参加できる。
3. 世界の動向と健康との関連に関心を持つことができる。



校長 矢野邦夫

人間性豊かな看護師をめざして

本校は、患者さんのそばに寄り添い、主体的な看護を実践する看護師の育成を目的として昭和49年に創立され、浜松市内の医療を担う人材の育成に貢献してまいりました。

本校での3年間に授業や実習を通して多くのことを学び体験するとともに、先輩、後輩との学校生活を通して豊かな人間性を育てていただきたいと考えております。その経験は生涯にわたって患者さんと喜びや悲しみを分かち合う看護の礎になることでしょうか。是非とも“優しいところ、思いやりのあるところ、温かいところ”を育て下さい。

私たちとともに学び充実した学校生活を送りましょう。

カリキュラムポリシー:教育方針(CP)

本校では、教育理念である「ケアリング」を基盤に、看護師として自他を尊重し、ともに成長しあう「思いやる力」と創造性豊かな看護実践が行える「実践する力」、看護職としての責任と自らの成長を育む「探求する力」、共生社会とグローバル化に対応し、多職種との連携・協働できる「協働する力」の4つの力を学年進行とともに段階的に身に付けられるよう学習するカリキュラムを編成しています。

カリキュラムは基礎分野科目(14単位)、専門基礎分野(22単位)、専門分野(79単位)によって構成しています。基礎分野は、看護を実践していくための科学的思考の基礎や人間と生活・社会の理解をする科目で構成され、専門基礎分野は、看護の対象理解の基盤となる人体の構造と機能や疾病の成り立ちと回復の促進、地域で暮らす人々の健康を支える基盤となる健康支援と社会保障で構成されています。専門分野は、看護学の専門的知識・技術を基礎から応用へと段階的に学修するための科目で構成されています。

本校では、学習の主体である学生が能力を最大限に発揮し、いきいきと看護を学べる環境を目指し、学習者と教育者がともに学習し、成長していく関係を大切に教育を目指します。

- ・リフレクションによる経験の意味付けを通して、自身で成長し、学び続ける力(自己教育力)を育成します。
- ・学生一人ひとりの個性を生かした教育のために、少人数グループによる学修を取り入れるとともに、ラベルワークによる創造力や参画力の育成に力を入れています。
- ・看護専門職としての成長の核となる看護観の育成を図りながら、基本的な知識・技術・態度を習得し、確かな看護実践能力を育成・強化するために様々な科目にシミュレーション教育を取り入れています。

	DPI 思いやる力	DPⅡ 実践する力	DPⅢ 探求する力	DPⅣ 協働する力
三 年 次	精神看護学実習 多文化共生論	総合実習 小児看護学実習 母性看護学実習 老年看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅱ 総合看護技術 災害看護	看護研究	地域・在宅看護論実習Ⅱ 多職種連携 国際看護 看護管理 医療安全
二 年 次	ART 教育学 倫理学	成人看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護援助論Ⅰ～Ⅲ 老年看護援助論Ⅰ～Ⅱ 小児看護援助論Ⅰ～Ⅱ 精神看護援助論Ⅰ～Ⅲ 母性看護援助論Ⅰ～Ⅲ 小児看護学概論 経過別看護Ⅰ～Ⅲ 地域・在宅看護援助論Ⅲ 地域・在宅看護援助論Ⅱ 臨床治療論 看護過程 看護理論 福祉レクリエーション 回復促進援助技術論Ⅰ～Ⅱ リハビリテーション学		チームビルディング 公衆衛生学 社会福祉Ⅱ
一 年 次	人間関係論 心理学	基礎看護学実習Ⅰ 成人看護学概論 老年看護学概論 母性看護学概論 精神看護学概論 家族看護論 生涯発達学 地域・在宅看護援助論Ⅰ 臨床看護方法論 フィジカルアセスメント 臨床推論 地域・在宅看護概論 看護学概論 共通看護技術論 日常生活援助技術論Ⅰ～Ⅲ 感染症学 疾病治療論Ⅰ～Ⅴ 臨床栄養学 薬理学 生化学 解剖生理学Ⅰ～Ⅲ 病理総論 看護人間工学	哲学 情報科学 生活科学 論理学	地域・在宅看護論実習Ⅰ 英語 社会学 社会福祉Ⅰ 法律と医療

アドミッションポリシー:入学者の受け入れ方針(AP)

- I. 看護に関する学修を意欲的に行える人
- II. 看護を学ぶための必要な基礎学力と論理的思考力のある人
- III. 他者に関心を持ち、多様な人とコミュニケーションをとることができる人
- IV. 主体的に考え、発言し、行動できる人
- V. 地域への貢献に意欲がある人
- VI. 人に親切で誠意のある人



本校の魅力

1. 看護基礎教育機関としての伝統と実績（長く活躍する卒業生たち、高い国家試験合格率）
2. 看護の知探究ラベルワークなどの特徴のある教育方法の活用（協働学習、参画理論を活用）
3. 専門学校の良さを生かした1人1人を大切にしたい教育（担任制導入、個別指導充実）
4. 平成31年1月に開校した学びやすさを考えた新校舎（実習室の充実、自習スペースの確保）
5. 浜松市の運営（コスト面でも学びやすい、安定した経営体制）
6. 実習施設との連携体制の充実と幅広い実習施設の活用

沿革

昭和 49年 4月	広沢一丁目に仮校舎による3年課程（看護第1学科）の看護師養成所を開校 名称 浜松市立高等看護学院 所在地 浜松市広沢一丁目21番1号 1学年定員 30人
昭和 50年 4月	2年課程（看護第2学科）併設 1学年定員 30人
昭和 51年 3月	新校舎完成、移転 所在地 浜松市佐鳴台五丁目6番1号
昭和 51年 7月	プール完成
昭和 51年10月	名称変更 浜松市立看護専門学校
昭和 53年 4月	体育館完成
平成 5年 4月	校舎棟東館完成
平成 5年 4月	看護学科第1学科の定員を30人から70人に増員
平成 6年 4月	看護学科第1学科を看護学科に変更（平成6年4月入学生から）
平成 7年 3月	看護第2学科廃止
平成 11年 3月	学生寮廃止
平成 31年 1月	新校舎完成、移転 所在地 浜松市中区佐鳴台五丁目8番1号

資格取得

- 看護師国家試験受験資格
- 助産師学校（助産師）受験資格
- 大学への編入資格（保健師）

学費等（主な必要経費）

- 授業料：年額192,000円（4月・10月分納）
- 教科書・実習衣等約300,000円程度（入学時）
- その他行事参加実費、実習交通費、教材費、抗体検査費、ワクチン接種費等

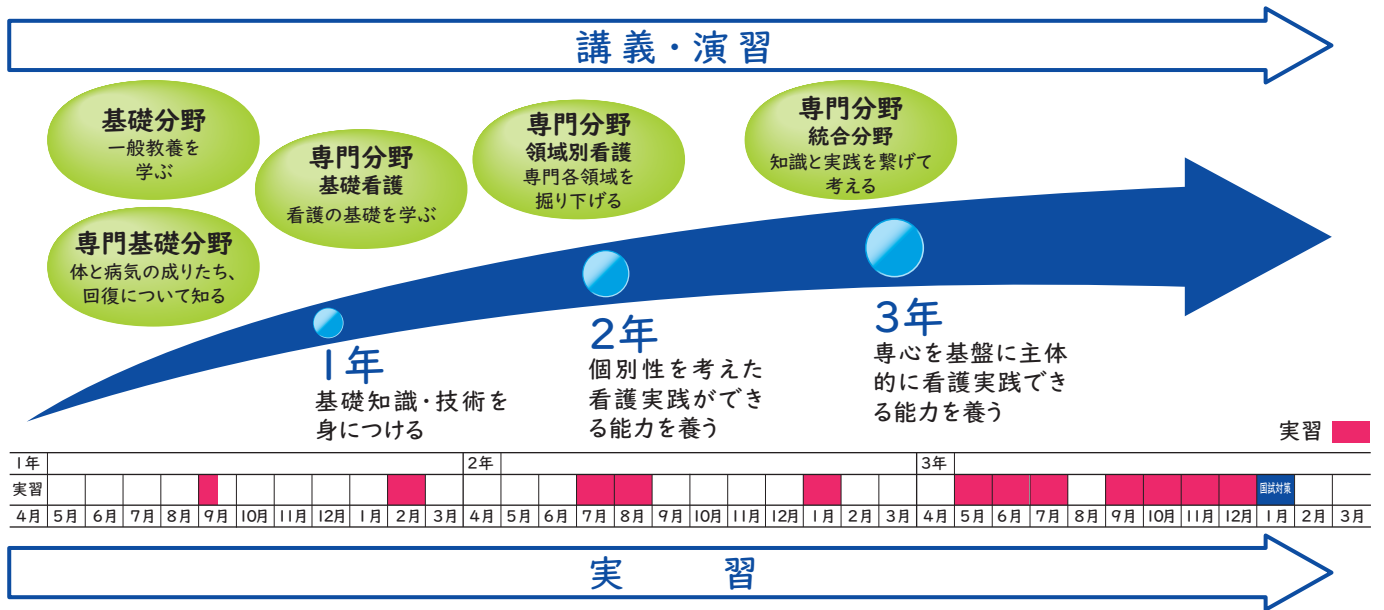
※上記の費用は令和4年4月現在のものであり、改定される場合もあります。

実習施設

- 浜松医療センター ●あゆみ保育園
- 国立病院機構天竜病院 ●西山病院 ●西山ウエルケア
- 西山ナーシング ●特別養護老人ホーム南風
- 特別養護老人ホーム第2南風
- 特別養護老人ホーム花菜風
- 白梅ケアホーム ●白梅県居ケアホーム
- グループホームハーモニー ●ケアハウス花 ●小規模特養彩
- 好生会三方原病院 ●好生会三方原病院デイケア
- 訪問看護ステーション富塚 ●訪問看護ステーション天竜
- 訪問看護ステーション初生 ●日赤訪問看護ステーション
- 訪問看護ステーション上島 ●訪問看護ステーションしろわ
- 訪問看護ステーション住吉 ●訪問看護ステーション浅田
- 訪問看護ステーションあすなろ
- おおせデイサービスセンター
- 第2長上苑デイサービスセンター
- 地域包括支援センター佐鳴台 ●地域包括支援センター板屋
- 地域包括支援センター鴨江 ●地域包括支援センター三和
- 地域包括支援センター三方原 ●地域包括支援センター天竜
- ながかみ保育園 ●ヘルパーステーションぼぷら
- デイケア秋桜 ●坂の上訪問看護ステーションあずきもち
- 坂の上暮らしの相談所 ●在宅ケア幸
- 坂の上ろうけん曳馬野通所リハ
- 浜松市南区役所健康づくり課
- 浜松市西区役所健康づくり課
- はままつ友愛のさと ●聖隷おおぞら療育センター
- 助産院大地 ●アルス・ノヴァ ●アルス・ノヴァ入野



3年間の学習の流れ



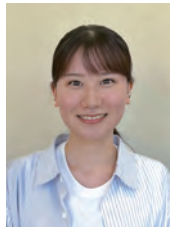
在校生のこぼれ



49回生 片桐星奈さん(浜名高等学校卒業)

授業や実習での学びをクラスやグループの仲間たちと深めていくことで、自分だけでは得られなかった考え方をすることができます。多様な価値観や連携、協力などもグループワークや多くの行事から学ぶことができ、充実した学校生活を送っています。

課題、実習と大変なことも多いですが仲間と協力してなりたい看護師像を目指すことができます。



48回生 柴田紗也香さん(浜松湖南高等学校卒業)

今までを振り返ると、実習や授業のグループワークなどを通して、自分と向き合うことで新たな発見があり、人としての成長に繋がっていると感じます。実習の経験や授業での話し合いから、私たちが学びを得られるのは、先生方の丁寧な関わりがあるからです。

つらいなど感じることもあるとは思いますが、自分自身と向き合いながら、「大切にしたい看護」を仲間や先生方と一緒に見つけていきましょう。

国家試験対策

★国家試験合格率100%!!

- 日頃の実習での学びが国家試験対策につながっています
- チューター制度で学生一人ひとりに合わせて国家試験までサポートしています



就職・進学 ★就職率100%!!

- あなたが目指す看護を実践できる職場選択を支援します。
- 卒業生は地域で高く評価されています。
- 認定看護師や専門看護師、看護師長、看護部長として活躍している卒業生がたくさんいます。

3年間の流れ

- 1年次……3月 進路ガイダンス
- 2年次……11月 就職ガイダンス
12月 病院説明会
3月 エントリーシート・面接試験対策講座
エントリーシート・面接個別指導
- 3年次……エントリーシート・面接個別指導

おもな就職先

- 浜松医療センター
- 浜松医科大学医学部附属病院
- 聖隷浜松病院
- 聖隷三方原病院
- 浜松市リハビリテーション病院
- 浜松赤十字病院 など

おもな進学先

- 浜松医科大学医学部看護学科
- 新潟大学看護教諭特別別科
- 京都医療センター附属京都看護助産学校
- 静岡医療科学大学校助産学科 など

一日の流れ 学生の一日を紹介します

●授業編



時間割

- 1 限 8:50~10:20
- 2 限 10:30~12:00
- 昼休み 12:00~13:00
- 3 限 13:00~14:30
- 4 限 14:40~16:10



登校します。



提出物は、提出BOXへ提出します。

多くの臨床看護師をはじめ専門家の授業があり、最新の知見を学ぶことが出来ます。グループワークや体験しながら学ぶ授業も多く取り入れています。



充実した実習室で技術を磨いていきます。基礎技術から活用できる技術へ、シミュレーション教育も多く取り入れています。



昼食は、ラウンジや教室で食べます。飲み物の自動販売機があります。食堂や売店はありません。お弁当を注文することも出来ます。写真はラウンジの昼食風景です。



1人1人の学びにあわせた個別指導も充実しています。



担任制になっており、当番の毎日の連絡や個々の相談にいつでも対応しています。



図書室、ラウンジを中心に学習できるスペースも充実しています。

● 実習編



- 8:00 実習ノートを提出
- 8:15 実習病棟へ
- 8:30 病棟の申し送りに参加
- 8:45 看護師さんに行動計画を報告
- 9:00 患者さんのもとの行く前にグループメンバーで打ち合わせ
- 9:15 患者さんの検温測定へ
看護師さんや教員とともに患者さんに援助
- 12:00 患者さんのお食事を配膳
(食後に口腔ケア)
- 昼休み 午後の援助に向けて充電
(1時間)
- 13:30 午後の検温・援助
- 15:15 カンファレンス
明日に向けてよりよい看護を提供できるように話し合います
- 16:45 カンファレンス後に図書室で調べもの



多くの実習は、浜松医療センターで行います。普段の通学と同じで定期券の買い換えも不要です。着替えて病院へ向かいます。お昼ご飯も病院から戻って学校で食べ、落ち着いて休み、新たな気持ちで午後の実習にのぞみます。カンファレンスも学校で落ちついて話し合えます。図書室で調べ物もでき、実習室で技術の練習も出来ます。



看護師さんに実習の行動計画や援助の報告・相談をしていきます。一緒にケアに入ってくれたり、丁寧にアドバイスをしてくれます。



必要なケアを実践していきます。



実習は6名程度の小グループで活動します。メンバーとの協力も大事!一緒にケアをしたり相談に乗ってもらったりします。教員も1グループ1名ついて、丁寧に指導していきます。

1年次の実習

- 9月 地域・在宅看護論実習I
- 2月 基礎看護学実習I

2年次の実習

- 7月・9月 成人看護学実習I
老年看護学実習I
- 12月 基礎看護学実習II

3年次の実習

- 対象に合わせた看護を実践する力を高めます
- 6つの領域実習/5月~7月上旬・9月下旬~11月
 - 12月 総合実習 卒業前の集大成

自治会活動・課外活動 —自治会活動では、学生自ら企画・運営します

集団凝集性訓練

1年間実習をともにするメンバーと佐鳴湖畔を歩きます。即興の身体表現を通してチームワークを高めます。



4

April

5

May

6

June

7

July

8

August

9

September

10

October

11

November

12

December

1

January

2

February

3

March

年間を通して

新入生歓迎会



入学後初めて3学年で交流できる行事です。伝統の綱引きやゲームを通して、縦のつながりも深められるチャンス!

看護の日

お世話になっている実習施設に訪問し、歌とハンドベルの演奏を行います。患者さんと一緒に歌い、心が温まります。



1年生夏休み清潔技術練習



夏休みには、清潔の技術練習を行います。実習にも生かすことができる技術となります。

戴帽式

戴帽式では上級生から1年生にナースキャップを贈ります。看護への志を新たにし、目指したい看護師像を描きます。



体育祭



様々な競技を通してクラスの団結が深まります。看護学生ならではの「枕づくり競走」もあります。身体を動かすことでリフレッシュしたり、他学年と交流する機会にもなっています。

学校祭

日頃の看護の学びを活かした展示や模擬店などでにぎわいます。地域の人々と交流し、看護について知ってもらう機会となっています。



ウェストバージニア大学と交流



英語の授業の中でオンラインで交流をはかります。スライド作成に事前に原稿も作ります。

ラベルワーク

ラベルワークでは、自分の意見を一文に表すことや相手の意見を真に理解していくことの難しさを感じます。しかし、新しい気づきや発見があり楽しさもあります。



2年生フィールド・スタディ



地域で活躍できる看護師を目指して、自ら地域でリサーチし課題発見と改善提案をします。

国際交流 –グローバル社会で活躍する看護師へ

- 2019年11月アメリカ合衆国ウエストバージニア大学(WVU)と姉妹校提携を行いました。
- 医療の高度化や国際化の進展など看護を取り巻く環境は変化しており、未来を担う看護師にとって、先進的な医学や看護学を学ぶ必要があります。
- 国際交流を通じ、看護を学び合います。
- 語学力の育成と国際的な視野を広げる活動を行っています。



ウエストバージニア大学
ヘルスサイエンスエリア

具体的な活動内容

- 年1回の短期留学(2名程度)
- 留学生との交流セッション
- ICTを活用した交流
- 無料英会話講座
- 共同研究

看護の知の探究ラベルワーク

本校が発祥の地ともいえる教育方法です。ラベルを活用しながら、体験の中から導き出される意味を探究していきます。自身の看護観が育まれるとともにコミュニケーション力が磨かれます。



お互いの考えを引き出し合える空間をサポートしています。さらに後輩への支援を学ぶ機会もあり、看護職として必要なコーチングを学ぶ機会となります。

クラブ活動

茶道部

毎週金曜日にお稽古をしています。お茶のこころを学ぶことで、礼儀作法も身につけることができます。茶道で学んだ礼儀作法や心遣いは患者さんとの関わりで活かされ、よりよい看護につながります。日本の伝統を看護に活かせるように、学びを大切にしつつ楽しく活動しています。

48回生 小林稜央さん(浜松湖東高等学校卒業)



卒業生のことば



45回生
新谷慈温さん
(浜松医療センター勤務)



実習を通して自分の看護を振り返り、患者さんに合わせたよりよい看護を行うためにはどのような関わりをしたら良いのか考え続けることができるのは学生時代にクラスメイトと話し合いなどができたからだと思います。

市看では先生方との距離が近く、分からないことがあれば何でも聞くことができ、丁寧に教えてくれます。また、3年間同じクラスなので、クラスメイト同士で分からないことを相談し合ったりすることもできます。男子学生は先輩たちとの距離も近く、様々なアドバイスももらえます。



45回生
皆戸中麻衣さん
(浜松医科大学医学部附属病院勤務)



私は手術部で看護師として働いています。術前・術後訪問では、患者さんの思いや背景を理解し、より前向きに、そして安全に患者さんが手術を受けられるよう頑張っています。

市看で培ったリフレクションする力は、患者さんとの関わりを振り返りより良い看護や関わりを考えていく上でとても重要な力であり、市看で学ぶことができて良かったと日々実感しています！ぜひ市看で自分のやりたい看護を見つけてみてください！

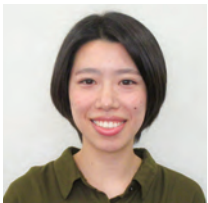


44回生
成毛あかりさん
(県立こども病院勤務)



学校生活で特に印象に残っているのが、「根拠」と「五感」の大切さについて学んだことです。実習では根拠を深く求められ、分からなくなることもありましたが、今小児の病院で働く中で、些細なことでも疑問に思い考えることで、疾患や治療へのさらなる学びや安全に看護することにつながっています。

また、発達段階や病気によって思いを言葉で伝えられないことも多いです。状態変化に早期に気づくには知識と五感が大切であることを改めて感じています。市看での学校生活はとても実りのある3年間で、市看を乗り越えたからこそ、今自信をもって働いています。



43回生
平澤萌々さん 助産師
(浜松医療センター勤務)



私は助産師として働いています。看護師国家試験と助産学校の受験勉強の両立は不安でしたが、分かりやすく実践的な授業や実習、相談しやすい先生方に支えて頂き頑張ることができました。

大変なこともありました。市看で3年間を過ごせてよかったです。ぜひ、素敵な仲間、先生方と共に理想の看護師をめざして頑張ってください。



37回生
杉野朱音さん 保健師
(浜松市勤務)



市看を卒業し、2年間病棟で看護師として働き、大学の編入を経て、現在は行政保健師として働いています。

看護・保健専門職のコミュニケーションを円滑にするためには、知識と経験に基づいた関わりが重要です。市看で学んだ看護学が基礎となり、対象者を理解するための情報収集力が保健師活動に活かされています。市看では、そのために必要な根拠に基づいた知識を学べ、実践的な実習を経験することが出来ます。近い将来に役立つ力を養える学校へ、ぜひ皆さん学びに来てください。



浜松医療センター
副院長兼看護部長 杉山由香

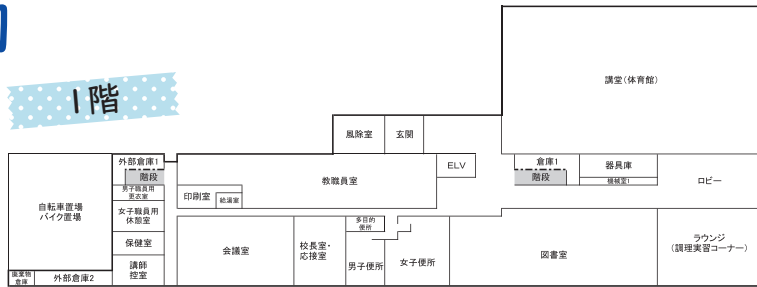
浜松医療センターは、浜松市立看護専門学校の主な実習病院です。一人ひとりの学生の思いや考えを受け止め、知識を実践に活用(応用)できるように実習を進めていきたいと考えています。

学生は実習を重ねるごとに、患者さんの個別性を捉え、患者さんに合ったケアを選択し実践できるようになっていきます。その成長していく姿を確認できることも、私たち看護職の楽しみの一つです。

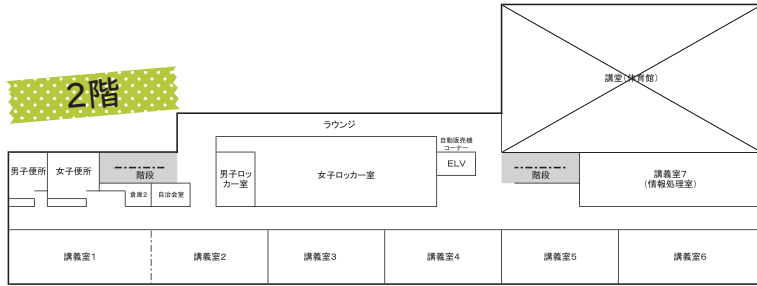
社会に貢献する看護師の育成を目指し、私たち看護職も学生を全力で支援させていただきます。

校内案内

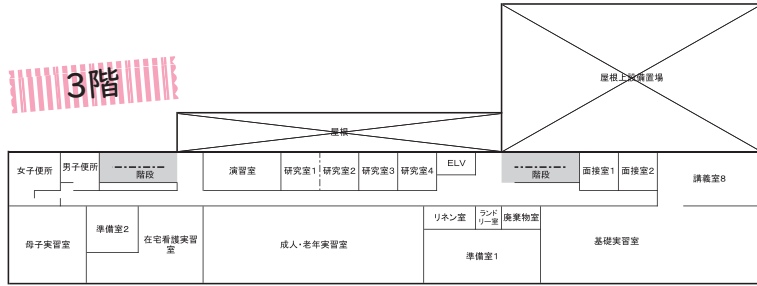
図書室・講堂
調理室兼ラウンジ
職員室



講義室・更衣室
情報処理室
ラウンジ

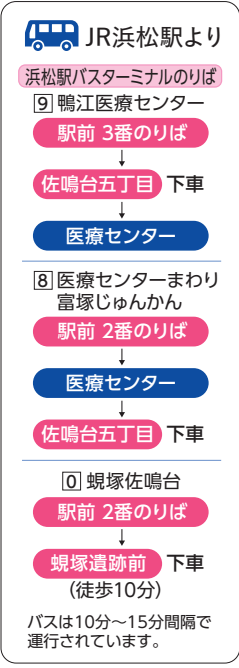


実習室・演習室
研究室



通学方法

- バス
最寄りバス停遠鉄バス佐鳴台五丁目、浜松医療センター
- 自転車
(自転車置き場あり)
- 原付バイク
※大型自動二輪はご遠慮ください
- 自家用車
自家用車での通学を希望される方は各自で不動産業者と契約してください(有料)
※空きがない場合もあります
※学校には学生用駐車場はありません

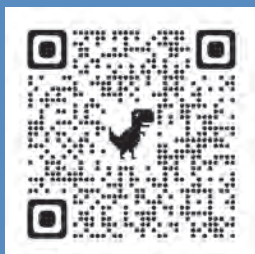


学校周辺の環境

- 学習に集中できる静かな環境です
- 近くに佐鳴湖公園があり、自然に触れることができます



Hamamatsu municipal nursing college



公式Instagram

お問い合わせ先

浜松市立看護専門学校

〒432-8021 浜松市中区佐鳴台五丁目8番1号
Tel:053-455-0891 Fax:053-455-0893

発行者: 浜松市 健康福祉部看護専門学校
発行: 2023 年6月

URL: <https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/kango/school/kango/index.html>
E-Mail: kango@city.hamamatsu.shizuoka.jp

